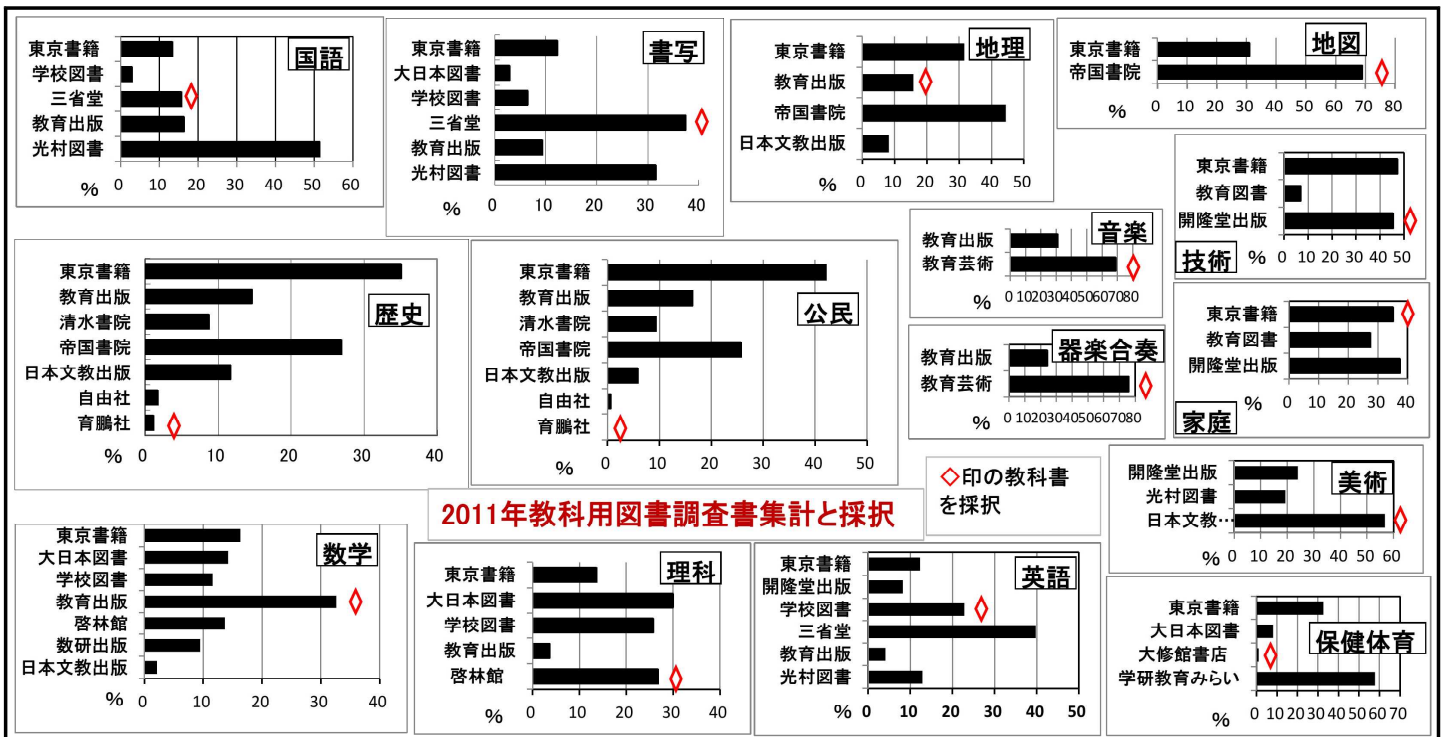


藤沢市教委またも育鵬社を採択 歴史と公民 学校現場や保護者・市民を軽視 採択方針違反

グラフの説明は裏面にあります。

7月29日、藤沢市教育委員会定例会の傍聴受付開始10分後には、定員100名に対し197名が受付。傍聴は抽選に。5人の教育委員による「合議」で上記グラフの△印のような採択を行いました。歴史、公民、保健体育で各中学校から出された「教科用図書調査書」の集計結果、および「教科用図書採択審議委員会」の答申と大きく異なる採択がなされました。これは学校現場や保護者・市民を無視あるいは軽視するもので市教委自らが決めた「採択方針」にそむくものです。 ☆採択方針は裏面に掲載。



藤沢市の教科用図書採択方針（一部抜粋、下線・太字は引用者）

1 基本的な考え方

(1) 国、県、市の資料等を踏まえて採択する。

文部科学省の「学習指導要領」、神奈川県教育委員会の「平成28年度使用中学校、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の観点」、平成28年度使用特別支援教育関係教科用図書調査研究の観点」及び藤沢市教科用図書採択審議委員会(以下「審議委員会」という。)の「答申」等を踏まえて採択する。(以下略)

(2) 公正かつ適正を期し採択する。

静ひつな採択環境を確保し、採択権者としての判断と責任において公正かつ適正な採択を行う。

(3) 学校、児童生徒、地域等の特性を考慮して採択する。

本市の児童生徒の実態や地域の特性を考慮して採択する。

上記下線部の「審議委員会」の「答申」は、第2回審議委員会の議事録をあてることになっています。下の表は、審議委員の誰がどの教科書の特徴について発言したかを示したものです。

2015年第2回採択審議委員会

歴史					公民					保健体育					
No	委員	出版社			No	委員	出版社			No	委員	出版社			
1	吉田	東京	帝国		1	本橋	東京	帝国		1	岩本		大日本	学研みらい	
2	本橋	東京		教育	学び舎	2	渡邊	東京		教育	育鵬社	2	天利	東京	学研みらい
3	渡邊	東京	帝国	育鵬社	3	中村	東京		教育	清水	3	石曾根	東京	大修館	
4	岩本	東京	帝国	日本文教	4	金箱		帝国	自由社	育鵬社					
5	若林		帝国	自由社	清水	5	石曾根	東京	帝国	日本文教					
6	中村	東京		教育	育鵬社										

この答申を尊重するなら、歴史・公民はともに東京書籍か帝国になります。また、保健体育は東京書籍か学研みらいになります。方針にそむく採択です。

教科用図書調査書と集計グラフについて ☆集計とグラフ作成はみんなの教育・藤沢ネット

審議委員会が各中学校長に提出を求めるもので、各中学校が教科書を9～10の観点で調査研究し、観点ごとに1校が1つの教科書に○を付ける形で作成する。1教科ごとの○の総数は、今回は数学と理科が19校×10観点で190、他は19校×9観点で171になる。グラフの％は、各教科書についての○の数を総数である190あるいは171で割って求めたもの。学校現場の意向を反映する。

8月1日 サンパール広場で抗議の街頭宣伝 「こどもたちの未来@ふじさわ」から教科書採択に抗議する街頭宣伝の呼びかけがあり、8月1日(土)の午後、藤沢ネットからも6人が参加して共同で抗議の宣伝を行いました。ちらしの受け取りがよく、用意した200枚では足りなくなり、追加して印刷し配布。若いお母さん、元市議会議員、元教育委員などおよそ20人が次々とマイクを握りスピーチ。スピーチでは、育鵬社の教科書採択と戦争法案とは同じ根をもつという認識も示されました。

8月3日 教育委員に公開質問状を提出 質問項目は次の2つ。

- (1) 育鵬社版の歴史、公民の教科書について、市の教科用図書採択方針に反し、学校現場の意見とは、まったく異なる判断をした理由について、明確な説明を求めます。
- (2) 国際協調・国際理解に反し、侵略戦争を美化し、平和主義をあいまいにした、藤沢の子どもたちにとってふさわしくない育鵬社版の歴史、公民の教科書を、採択した理由について、明確な説明を求めます。

藤沢市教育委員会・育鵬社版教科書採択 抗議・報告集会

日時：8月30日(日)15:30～16:50

場所：労働会館 第2会議室

